

## 平成29年度東大和市立郷土博物館協議会委員会議（要旨）

開催日時：平成30年2月20日（火）午後1時30分～3時

開催場所：東大和市立郷土博物館 会議室

出席委員：尾崎孝委員 目黒トシ子委員 荒金眞佐子委員 佐藤千とせ委員 住吉豊委員 5名  
（欠席委員：石井和光委員 西川晴美委員 神野善治委員 小倉良之委員）

事務局：佐伯社会教育課長・坂本郷土博物館長・濱田主任・阿美主事

○社会教育課長より挨拶

○職員より挨拶

○欠席した委員の紹介

○議題 平成29年度事業について

**事務局**：資料説明

**委員**：ぼくらのプラネタリウムなど他地域の学校と活動していて感動した。地域的に歴史のあるものがたくさんあるのでできれば常設的に展示してほしい。

**委員**：プラネタリウムを市民の人にたくさん利用してほしい。ひよこプラネタリウムなど意欲的に活動している姿勢が素晴らしい。

**委員**：ひよこプラネタリウムのような親子で観賞できるイベントを増やしてほしい。  
ポストカードを公民館まつりで販売するのはどうか。委託販売はできるのか。

**事務局**：産業まつりや変電所の公開のときに販売している。公民館まつりに依頼するのはあり。  
委託販売は手続きが複雑なため厳しい。

**委員**：多岐に渡る教育活動を行っていて素晴らしい。調査・研究の発表は行っているのか。

**事務局**：野鳥とチョウに関しては、館で独自に研究レポートを作成している。  
古文書に関しては内部資料として作成している。

**委員**：昨年ひなまつり展は合計で何人来場したのか。

**事務局**：昨年は2,474人来館した。比較的団体客や、高齢者のお客様が多かった。

**委員**：近年はひな壇を家に飾る家が少なくなったため、このような展示を行うことは素晴らしい。

変電所のDVDの内容が良くまとまっている。博物館の職員は活用しているのか。

**事務局**：変電所の定例公開の際はいつも放映している。また、一般貸し出しもしている。

**委員**：YouTubeにもアップロードされている。

**委員**：変電所のDVDはもっとPRしたいので今後も活用してほしい。

## ○議題 平成30年度事業について

**事務局**：資料説明

**委員**：博物館まつりについて、ただ見に行くだけでは人が集まらないので地場産の野菜などを販売するのはどうか。もう少し博物館まつりのPRをしたい。

**委員**：若い人たちは五日市憲法を知らない人は多い。少しでも多くの人目を惹きつけられるように実物を市役所本庁にも展示するのはどうか。

**事務局**：五日市憲法草案は厳重に管理されているため、複数の場所で展示するのは厳しい。あきる野市の許可があれば東大和市で初めての公開になる。それを目玉に準備を進める。

**委員**：明治時代の就学率は地域によって違い、芋窪と奈良橋の就学率は3割で蔵敷は7割だった。就学のためのお金は親が毎晩夜なべして縄を縋って稼いでいた。

「八重の桜」で登場する新島八重と新島襄のお手伝いを千葉卓三郎の奥さんがやっていた。

**委員**：「(仮) 明治時代の東大和」展は郷土の歴史に興味をもつ良いきっかけになる。今年は憲法問題があったため色々な意見があるかもしれないがぜひ成功させてほしい。

## ○その他

事務局より郷土博物館協議会委員の任期が平成30年度4月30日までのため、後日承諾を送付する旨を説明。